

## 倫理委員会審議内容

令和7年10月31日開催

No.7	申請者:副看護師長 比嘉 理恵美
課 題	国立病院機構に勤務する看護師のキャリアラダー受講に対する障壁
研究の概要	<p>当施設のキャリアラダー受講数は年々減少している。中規模療養型病院に従事する看護師のキャリア開発ラダーに対する意識調査では、キャリアラダー開発の再構築への示唆を得るため自記質問紙を用いてラダーに対する意識と意欲・取り組みやすい環境条件を調査している。結果、家族や病棟からの協力が「得られにくい」と回答しており、キャリアラダー研修やレベルアップに対する「意欲なし」の割合が優位に多く、やりがいや自己肯定感を高めていけるような場を設定して必要性が示唆されている。</p> <p>国立病院機構の看護の果たす役割としてキャリアラダー研修の受講は重要なものであり、本研究では、キャリアラダー受講の障壁要因を明らかにすることで、今後の受講意欲向上に繋がるよう取り組みの示唆を得たい。</p>
判 定	承認
利益相反審査判定	承認